



資料と写真にみる小名浜の変遷

■会期 平成30年12月13日(木)－平成31年6月9日(日)

■会場 いわき総合図書館5階 地域資料展示コーナー

はじめに

小名浜は、江戸時代から港町として栄え、現在のいわき市においては港湾、工業や観光など様々な分野で重要な位置を占めています。また、近年は商業の面でも注目されています。その繁栄の礎を築いた先人の営みをたどるために、総合図書館で所蔵している小名浜に関する資料や写真等を紹介する展示を開催します。今回の展示を通して、豊かな未来を目指して新しく道を切り開いてきた先人の営みに関心を持っていただければ、幸いです。

小名浜の成り立ち

「小名浜」の地名が文書に出てくるのは、文禄4（1595）年の「岩城領小物成目録」が最も早いとされています。これは、おなのはまに荷積船、漁船が出入りし、当時の支配者、岩城氏に諸税を納入していた記録です。（出典：『小名浜沿岸域形成史』）

地名の由来は諸説ありますが、隣村の岡小名村の浜辺を意味する、小名之浜がもとになっているとされています。（出典：『日本歴史地名大系7』）

江戸時代には、^{こめの}米野村、^{なかしま}中島村、^{なかちよう}中町村、^{にしちよう}西町村が小名浜4カ村と呼ばれました。漁業と米等物資の積み出しで、小名浜の町人の人口は城下町平を凌ぐほどで、大いに栄えました。

（出典：『いわき市史第2巻』） *今回の展示の「小名浜」は、4カ村の地域です。

地図を見るポイント

地図1「いわき市内にある貝塚」

（『みんなで学ぼういわきの歴史』より）

小名浜の平地は、海底平野です。縄文時代は海底でしたが、海面の低下や土地の隆起によって陸になりました。

地図2「地形分類図」

（『土地分類基本調査 川部・小名浜』より）

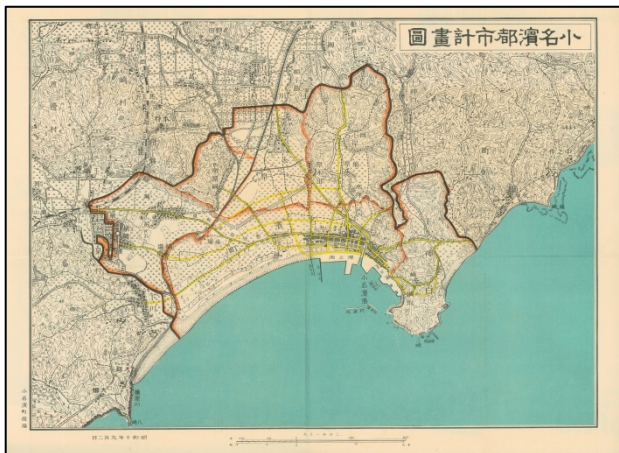
小名浜の平地は、藤原川の三角州です。阿武隈高地から運ばれた礫・砂などが堆積して形成されました。

（出典：『いわきの地誌』）

地図1



小名浜港の変遷



「小名浜都市計画図」昭和10年（1935）



「小名浜港港湾計画イメージパース」（完成予定図）

提供：福島県小名浜港湾建設事務所

展示図版 「紙本著色磐城七浜捕鯨絵巻 浜の巻」（江戸時代初期 いわき市所蔵）一部縮小複製

「小名浜港空撮写真」（平成30年2月27日）提供：小名浜港湾事務所

「重要港湾小名浜港」（平成30年9月19日）提供：福島県小名浜港湾建設事務所



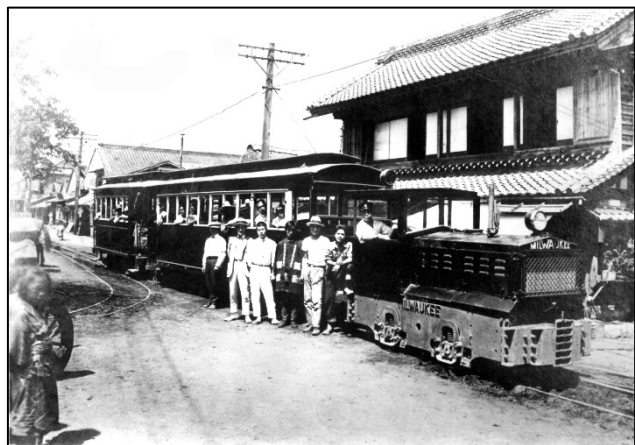
小名浜港3,000トン岸壁（現1号埠頭）に、日本水素建設の資材を積んだ大興丸が入港（昭和13年4月）



小名浜海水浴場と遠方に工場群

（昭和30年代初め、野木茂氏撮影）

鉄道の変遷



小名浜本町通りを走った磐城海岸軌道のガソリン機関車（大正15年頃、安岡正夫氏提供）



福島臨海鉄道小名浜新駅コンテナ列車出発式・テープカット前（平成27年1月、いわき市撮影）

展示図版 『小名浜町全圖』昭和4年（1929）小名浜町 部分複製

商店街の変遷



小名浜ショッピングセンター
(昭和 42 年 8 月、いわき市撮影)



小名浜銀座商店街の天狗おどりを西側から見る
(昭和 54 年 8 月、いわき市撮影)

展示図版 「商店街形状図 小名浜地区」、「小名浜ショッピングセンター店舗配置図」(昭和 55 年)
(『いわき市磐城広域商業診断報告書』より)

観光施設の変遷



三崎公園の展望台 (昭和 47 年 7 月、いわき市撮影)



県立海洋博物館誘致総決起大会・小名浜本町通りパレード
(昭和 60 年 11 月、いわき市撮影)



いわきサンマリーナのヨットがそろう会場をサンマリーナブリッジから見る・ふくしま国体(平成 7 年 9 月、いわき市撮影)



いわき花火大会 (平成 26 年 8 月、いわき市撮影)

小名浜の変遷年表

和暦	西暦	事項	和暦	西暦	事項
延享4年	1747	幕府の直轄地として、小名浜代官陣屋が置かれる	昭和44年	1969	隣地に「小名浜名店街」がオープン
明治20年	1887	磐城炭礦小野田抗から小名浜港まで軽便鉄道が開通	昭和45年	1970	「小名浜ショッピングセンター」が火災を機にリニューアル
明治30年	1897	日本鉄道磐城線(水戸～平)の開通	昭和47年	1972	福島臨港鉄道の旅客輸送終了
明治38年	1905	磐城炭礦軌道(湯本～小名浜)で旅客運転開始	昭和53年	1978	三崎公園の南端に「三崎潮見台」が完成
明治40年	1907	泉と小名浜を結ぶ小名浜馬車軌道が開通	昭和61年	1986	いわきマリントワーが建設
大正4年	1915	磐城海岸軌道(泉～小名浜)の開通	平成6年	1994	いわきサンマリーナ供用開始
大正7年	1918	漁港修築工事の開始	平成9年	1997	8月、「小名浜ショッピングセンター」閉店
昭和4年	1929	小名浜町民による「白たすき隊」、内務省に陳情する			9月、「小名浜名店街」を改修し、「タウンモール リスポ」と改称
昭和13年	1938	小名浜商港(3000トン岸壁)完成			いわき市観光物産センター(いわき・ら・ら・ミュウ)オープン
昭和16年	1941	小名浜臨海鉄道(泉～小名浜)が開通、小名浜駅を開設	平成12年	2000	ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)の開館
昭和19年	1944	磐城炭礦軌道の廃止	平成17年	2005	アクアマリンパークといわきサンマリーナが「いわき小名浜みなのオアシス」として登録
昭和23年	1948	沈船防波堤の建設(澤風・汐風)			小名浜さんかく倉庫(小名浜美食ホテル、潮目交流館)オープン
昭和26年	1951	重要港湾に指定	平成20年	2008	小名浜さんかく倉庫(小名浜美食ホテル、潮目交流館)オープン
昭和31年	1956	関税法における開港指定(国際港)	平成23年	2011	国際バルク戦略港湾の石炭部門に選定
昭和32年	1957	小名浜の海岸が「磐城海岸県立自然公園」に指定	平成27年	2015	小名浜駅を600m西側に移動し、小名浜新駅で業務開始
昭和36年	1961	三崎公園に「円形展望台」が完成	平成30年	2018	1月、「タウンモール リスポ」閉店
昭和41年	1966	小名浜西部地区に「さんわショッピングセンター」がオープン			6月、臨海鉄道駅跡地に「イオンモールいわき小名浜」がオープン
昭和42年	1967	小名浜臨海鉄道が福島臨港鉄道に組織替え			7月、リスポ跡地に「ヨークベニマル 小名浜リスポ店」が開業
		小名浜第一小学校跡地に「小名浜ショッピングセンター」が開業			

◆◆◆ 参 考 文 献 ◆◆◆

- ◆ いわき市磐城広域商業診断報告書 福島県・いわき市 1980 (K/672/イ)
- ◆ いわき市の文化財 いわき市教育委員会 2017 (K/709/イ)
- ◆ いわきの地誌 いわき地域学会 2016 (K/291/イ-2016)
- ◆ 小名浜沿岸域形成史 小名浜沿岸域研究会 運輸省第二港湾建設局小名浜港工事事務所 1983 (K/683/オ)
- ◆ 小名浜港の歩み -小名浜港開港60周年記念誌- 福島県小名浜港利用促進協議会 2016 (K/683/フ)
- ◆ 小名浜ショッピングセンター物語 須田 一男 1989 (K/673/ス)
- ◆ 小名浜・鉄道往来記 おやけ こういち 1994 (K/686/オ)
- ◆ 土地分類基本調査 川部・小名浜 福島県 1995 (K/450/フ)
- ◆ 藩領と江戸藩邸 明治大学博物館 2014 (K/210.5-1/ハ)

◇ いわき市ホームページ「いわきの今むがし 小名浜地区」
<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1451991673670/index.html>

★「小名浜港」に関する資料は、いわき資料パスファインダー No.1 「小名浜港」に関する資料の探し方 をご覧ください
http://library.city.iwaki.fukushima.jp/manage/contents/upload/00002_20181214_0003.pdf

協 力

(敬称略)

おやけ こういち 国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所 福島県小名浜港湾建設事務所

いわき市産業振興部工事・港湾課 いわき市ふるさと発信課